

やっぱり情報大！

充実した情報教育。

情報大の教育の 3 本柱は経営・会計・情報。とりわけ情報教育では他には負けません！ネットワークやプログラミングを中心として基礎から応用まで学べる科目がそろっています。何よりも重視しているのが資格教育。基礎的な資格である IT パスポートを全学生が取得できるように模擬試験や試験対策講座を定期的に行っています。さらには基本情報技術者試験・応用情報技術者試験、CCNA・CCNP など難易度の高い検定試験に取り組むための授業・クラスを設定し、模擬試験も定期的を実施しています。また、社会的に需要が高い「マイクロソフトスペシャリスト」(MOS) の対策の授業も設定しています。

資格対策だけではなく、ロボット製作、ゲームをはじめとして様々なアプリ開発の授業やクラスを設定していますから、情報分野の「実践力」を身につけたい人にはもってこいの学習環境。仲間たちと楽しみながらエキスパートの道を目指しましょう。



受験生の皆さん！ 専門学校で勉強できないことが情報大にはたくさんありますよ！

学生：そうですね。ただ随所に情報大、太宰府天満宮、九州国立博物館など近隣の名所の写真を入れ込んでいて、ステージをクリアするたびに写真が映るように、プログラムを組みました。

ーなるほど～。まさに太宰府そのもののゲームですね。「ふみふみ」ってどういう意味？



学生：太宰府を散歩して回るっていうコンセプトなんですが、ステージをクリアするたびに「ふみふみ」って音が鳴るようにしています。歩いていることを表現したかったんです。

ーかわいいですね～。こちらの「脱出ゲーム」について教えてください。

学生：謎解きをしながら部屋から脱出していくゲームです。途中でお化けを退治したり、箱を動かしたりして、いろんなアイテムを獲得しながら、脱出を目指します。謎解きがけっこう難しいので、なかなか脱出できませんよ～。

ーそれは面白いですね～。ぜひやってみたい！これらのゲームを製作するのにどれくらいの期間をかけたのですか？

学生：4 月から夏休みいっぱいかかりました。ゲームソフトづくりとしてはまだ入り口に入ったばかりなので、今後はプログラムをもっと勉強して、ゼミの仲間との協力体制をさらに強くしていきたいです。

ーゲーム製作に関心のある高校生も多いと思いますが、アドバイスをお願いします。

学生：わたしたちは、Free soft を使ったり、一般的なプログラム言語を利用してゲームを製作しました。ゼミ仲間のあいだでの製作の手順や管理の確認、協力体制の重要性なども学びました。情報大は、ゲーム製作に興味のある方には適していると思いますよ。初心者でも大丈夫。先生方が基礎から教えてくれますから。ゼミの仲間ですべてのものを作り上げるって充実感ありますね～。

ー次のゲームも期待しています。ありがとうございました。

○次に模擬店に行ってみましょう。

こちらは焼き鳥のお店。ネタが大きい！この大きさに 1 本 100 円は安いんです。もうもうと煙が立ち上る中、「和田・大浦クラス」(1 年生・情報ネットワーク学科)の男子学生が焼いていますよ。

ーこんにちは、売ってますか？



学生：大好評です。760 本準備して、もう 500 本売れました。ネタが大きいから、とっても売れて忙しいです。(笑)

ー勉強のことも教えてくださいませんか？

学生：自分たちは情報ネットワーク学科の学生ですが、プログラムとかネットワークなど専門的なことを学べるからこの大学を選びました。それだけでなく簿記などいろんなことも学ぶので広い知識が身につくと思います。



ー簿記は学んでみてどうですか？

学生：専門外の自分たちにはちょっと難しいところもあるんですが、なんとかついて行ってます。

学園祭レポート！！

過去最大の盛り上がりでした～っ！！

情報大が一番盛り上がる学園祭！今年は 11 月 8 日(土)・9 日(日)に行われました。第三回目を迎えた「アイドル学園祭」、



国際色あふれる留学生の模擬店(千手ミ、餃子など)や相撲部の学生のちゃんこ鍋、茶道部による呈茶会など、ここでは紹介しきれないほどバラエティ！！当日は学生だけでなく、おおぜいのお客さんもお越しになり、活気あふれる学園祭になりました。

それでは学園祭に参加した学生や様々な方々の「ナマ」の声をお届けしましょう。

○図書館前の学生ホールでは、「合田・和田基礎ゼミ」の学生(情報ネットワーク学科 2 年生、7 名)がゲームソフトの実演・体験会のブースを設けています。スクリーンには 2 種類のゲームが映っていますね。ちょっと立ち寄ってみましょう。

ーおもしろそうですね～このゲームソフトは皆さんが製作したのですか？



学生：そうです。右が「脱出ゲーム」で RPG、「ふみふみ」という名前のパズルゲームです。

ー「ふみふみ」は「テトリス」に似ていますね。

ー情報大に入学してどうでしたか？感想を教えてください。

学生：やっぱり小さい大学の良さですねー。入学してすぐは友達ができるか不安だったけど、入学式前に行われた夜須高原の一泊研修ですぐに仲間ができました。いま、うしろで焼き鳥を焼いている同じクラスの人たちです。授業のわからない点など教え合ってますし、休日はいっしょに天神にも遊びに出かけますよー。



ー充実したキャンパスライフになるといいですね。ありがとうございます。

○次に相撲部の模擬店です。
いまや学園祭の名物になった「ちゃんこ鍋」！！
これを食べずにはいられませんよねー。
ズン胸の大鍋のまわりで相撲部の猛者たちが調理しています。

ーこんにちは、ちゃんこ鍋、人気ありますねー

学生：見てください（鍋を指して）。まだ昼時なのに売り切れです。いま仕込みの最中です。

ーちょっと大学についてお話を聞かせてください。あなたは1年生ですか？

学生：はい、そうです。出身高校は沖縄のH高校です。



ー相撲が強い高校ですよー。情報大の相撲部の稽古はどうですか？高校と比べたらキツイ？

学生：稽古の量は高校のほうが多いかもしれません。だけど情報大の相撲部のほうが内容は濃いし、充実してます。

ー授業はどうですか？

学生：勉強はついて行くのに必死です（笑）。簿記やコンピュータなど高校のときはほとんど勉強したことがなかった科目があるので、とまどってます。簿記の仕分けだとかちよっと手こずってるかなー。だけど相撲部の仲間がいろいろ教えてくれるので助かってます。



ーいまは一人住まい？

学生：いいえ、相撲部の寮から通ってます。先輩たちも優しいから、寮生活は毎日楽しいですよー。

ー情報大の印象を教えてください。

学生：留学生もいるから、いろんな交流もできるし、視野が広がりますね。

サークル紹介（相撲部）

創部：平成14年度
監督：竹石洋介（准教授）
部員数（平成26年度）：30名（4年/6名、3年/9名、2年/5名、1年/10名）

最近の主な成績：第88回西日本学生相撲選手権大会団体第3位、第92回全国学生相撲選手権大会 団体 ベスト8

卒業後の進路：角界に現在（1/15）4名（十両：東龍、幕下：入江、竜王浪、古場）在籍中。また、今年度の就職活動状況は、西予市役所をはじめ希望者全員が内定しています。



ーあなたの学生生活での目標は何ですか？

学生：相撲もがんばりたいですが、情報大では高校の情報科目の教員免許が取得できるので、勉強もしっかりやって、ぜひ免許を取りたいです。将来は母校に戻って、教員になって、相撲部の監督になりたいなあって思ってます。

ー目標に向かってがんばってください。

○次にフライドポテトのお店です。女子学生3人がお客さんにポテトを渡しています。

ーこんにちは、たくさんお客さんが来てますねー

学生：けっこう売れ行きいいですよー

ー皆さんは留学生ですか？

学生：はい、わたしたちは中国の留学生で坂根先生のクラス（経営情報学科1年生）です。



ー情報大に入学してみて、日本語学校とどういう点が違いますか？

学生：簿記とか情報の科目などは今まで勉強したことがなかったので、難しいところもあるけど、勉強していて楽しいです。わたしは簿記で、テストの成績よかったんですよ！

ー素晴らしいですねー 情報大のおススメはなんだと思いますか？



学生：いろいろあるけど、先生方がやさしいですね。分かりやすく教えてくれるから、勉強しやすいです。それと小さな大学だから、先生と学生、学生どうしの距離が「ゼロ」って言うてもいいほど近いことですね。いろんな国の学生がいることも、楽しいキャンパスの理由の一つだと思います。自分たちは中国人だけど、韓国人、ベトナム人、ネ

パール人、もちろん日本の学生とも友達になれるから、楽しいですよ。



世界民族衣装
記念写真コー
ナーの2人

ちびっこからご
年輩の方まで、
たくさんの方が
参加して大盛況
でした。

ーたくさん友達を作ってくださいね。ありがとうございます。



太宰府トリビア

太宰府といえは天満宮ですが、最近では、縁結びの神様として信仰されている竈門神社（かまどじんしゃ）が人気です。デザイナーズ神社って感じでおしゃれですよ。ぜひ一度行ってみて！！（本学から車で約5分）

○一号館 1F のラウンジでは岸川ゼミ・合田ゼミ（情報ネットワーク学科、2～4年生）およびロボコンサークルが、「ロボットコンテスト体験」のブースを開いています。お母さんと子どもさんたちが小さなロボットを動かして遊んでいますね。その横では来場者の高校生の皆さんが白黒のラインの上に2台のロボットをリモコンで走らせて競争をしています。ロボットを製作した学生たちにお話を聞いてみましょう。

ーこんにちは。にぎやかですねー。



動かすプログラムもC言語で最初から作りました。なかなか難しかったけど、プログラム通りロボットがラインの上を走ってくれたら、ほんとに達成感ありますよ。

ー外部のコンテストに出場したそうですね。

学生：はい。いろんな大学や学校が出場するコンテストが10月にありました。ここにあるようにラインの上にロボットを走らせて競争するものだったのですが、自分たちはまだロボットの製作を始めたばかりということもあって、あまりタイムはよくありませんでした。だけど目標は完走だったので、最低限のことはクリアできたかなって思ってます。



ー今後の抱負を教えてください。

学生：今後はプログラムのレベルを上げていって、ロボットを片輪ずつ走らせたり、ぎこちない動きを修正したり、精度を高めていきたいですね。それとまた外部のコンテストにも挑戦したいと思います。



ー情報大を受験生におすすめするとしたら…

学生：ボクたちは情報を専門に勉強してきましたが、情報大は単なるパソコン学習だけでなく、プログラムやネットワークなどを深く広く学習できるところがおすすめです。それと経営学や簿記も勉強できるから、

情報だけに偏らないところもいいんじゃないかなあとと思います。

ーなるほど～ありがとうございました。

○一号館の学生食堂「きいす食堂」では、同窓会「至心会」の皆さんがドリンクやスナックを販売しています。懐かしい卒業生の方々が在学学生と談笑しています。



ーこんにちは、久しぶりですね。至心会の活動状況を教えてください。

至心会：主なものとしては、「Home Coming Day」というイベントを毎年1回行っています。これは自分たちの母校九州情報大学に訪れて、教職員の方々、卒業した旧友たち、そして在学学生と交流することを目的としています。今年はおよそ50人の卒業生が出席しました。そのほかにはFace Bookで至心会のページを作って、情報交換などしています。

ー学生時代の思い出を聞かせてください。

至心会：先生たちはキャラが濃かったよねー（笑）。実際に個性豊かな先生が多かったから、楽しかったですよ。先生や学生のあいだの距離が近かったから、様々な経験ができました。

ーたとえば？

至心会：わたしは、クリス・フリン先生（本学教授、オーストラリア出身）に「日豪協会」のパーティに連れて行ってもらったことですね。普段ならとてもお会いできない政財界の方々と直接お話をできたことが印象に残っています。わたしは平田先生（本学教授）のゼミ旅行ですね。湯布院に行ったんですけど、学生時代にしか味わえない先生や仲間との楽しい交流のひとつでした。



ー在学生にひと言お願いします。

至心会：日本人学生はおとなしいですね。もっと元気を出してって言いたいです。

○2号館図書館前の多目的ホールではジャグリングなど様々なパフォーマンスが行われています。見物している方のなかに高校生もたくさんいます。当日（11月9日）は情報大の第三回オープンキャンパスも合わせて開催されました。説明会、模擬授業、部活動見学などに多くの高校生がお越しになりました。ジャグリングが終わったところで、高校生の女子二人にお話を聞きました。

ー大学の学園祭に来てみてどうでしたか？感想お聞かせください。



高校生：高校と比べると、内容がすごいですね。面白かったです。

ーオープンキャンパスに来た目的を教えてください。

高校生：自分たちは情報大を受験するつもりなので、今日は実際にどんなキャンパスなのか自分の目で確かめにきました。教職員の方々が大学のことを親切にいろいろと教えてくれたので、受験を決めて良かったです。

ー大学に入ったら何を勉強したいですか？

高校生：情報大はコンピュータに強い大学だから、やっぱり情報関係の科目です。まずはワードやエクセルなどの基礎的なことをしっかり学習したいです。そしてプログラムやネットワークなど専門的な知識を深めていきたいですね。

ー学生生活でやってみたいことは？

高校生：部活動ですね。スポーツ系のサークルに入りたい。それと友達も作りたいたいな。

ー受験がんばってください。四月になったらキャンパスでお会いしましょう。

情報大の2月・3月入試

入試種別		出願期間	試験日
一般入試 ★給付型奨学生 選考を兼ねる	一期	1月19日(月)～1月30日(金)	*2月10日(火)
	二期	2月23日(月)～2月27日(金)	3月6日(金)
	三期	3月16日(月)～3月20日(金)	3月24日(火)
センター 利用入試 ★給付型奨学生 選考を兼ねる	前期	1月19日(月)～1月30日(金)	本学個別試験 はありません
	後期	1月19日(月)～2月27日(金)	
外国人 留学生入試	三期	2月13日(金)～2月20日(金)	2月27日(金)

*一般入試一期日程の試験会場は、本学のほかに大分、宮崎、鹿児島、那覇、広島、防府会場実施

★一般入試とセンター利用入試は成績により奨学金の給付あり

[募集要項請求先] ※送料共無料 九州情報大学 入試広報課
☎092-928-4000(代)

○野外特設ステージではこれからビンゴゲームが始まろうとしています。来場者の方々がたくさん集まってきました。地域の住民の方々もいらっしゃるようです。そのなかのある女性にいくつかお聞きしました。

ーこんにちは、情報大の学園祭の感想を教えてください。

住民：とっても活気があっていいですね。留学生の料理も食べられて、本場の味はやっぱり違うなーって感じですね。

ー情報大はどんな印象を持っていますか？

住民：「太宰府市民政庁まつり」で相撲部の学生さんが作ったちゃんこ鍋がとってもおいしかったですねー。実はわたしは情報大の公開講座によく参加しているんです。最近ではエクセルの公開講座でいろいろ教えてもらって、役に立ちました。娘のPTAの書類作りに活用しています。



＊情報大の公開講座＊

昨年実施したデジカメ講座です。本学の公開講座は、学生が講師やサポートをしていることもあり、アットホームな雰囲気、初めての方も参加しやすい環境で実施しています。受講料は、テキスト代程度です。詳細はHPをご覧ください。

ーお役にたてて光栄です。来年もぜひお越しになってください。

○今年の学園祭は例年に比べ活気にあふれ盛り上がりしました。準備から当日の運営、そして後片付けまで、学生の先導役として活躍した学友会長・学園祭実行委員長の高賀拓魅さん（経営情報学科2年生、陸上部）に学園祭の運営の苦労話などをお聞きしました。

ー学園祭お疲れ様でした。準備はいつ頃から始めたんですか？

高賀：5月からです。今年はとにかくどうやらお客さんがたくさん来ていただけるようになるか考えました。



西鉄太宰府駅、五条駅、二日市駅にはPRのポスターを貼らせてもらいました。筑紫女学園大学や福岡国際大学の学園祭では情報大の学園祭の宣伝チラシを配りましたし、近隣の小学校でもチラシを配らせていただいたんですよ。

ーだからお客さんが去年よりたくさん来ていたんですねー

高賀：おかげさまでー。情報大の学生以外だと外部からの来場者は1日目は300人以上、2日目は200人以上でした。いずれも去年より多いですね。

ー学園祭のプログラムで重視したことは？

高賀：小さい子供さんや家族連れの方にも楽しめる内容ですね。例えば2日目のビンゴ大会では、一等の商品が子供に人気のあるTVゲーム、二等が親に喜ばれる商品券にしました。

ー細かい配慮ですね。ところで1日目のアイドル学園祭の熱狂ぶりはすごかったそうですね。

高賀：はい。HRなど地元九州のアイドルがたくさん出演してくれたので、去年よりもお客さんが多かったですよ。過去最大の盛り上がりでした。アイドルたちのパフォーマンスも素晴らしかったし、AKB48に負けてないと思います！

ー急病人が出たそうですが…

高賀：はい。僕たち実行委員は会場の警備についていたのですが、混乱が起きないようにアナウンスをしたり、お客さんを誘導することができました。あとからツイッターで、いろんな方から対応が素晴らしかったとお褒めの言葉をいただいたんです。実行委員をやった良かったと思いました。

ーそれはご苦労様でした。学園祭の準備の話をもっと少し聞かせてください。ほかに気を遣ったことは？

高賀：協賛金をお願いして回ったことですね。地元の商店の方々から大変ありがたく頂戴しました。その際は、事前に電話でアポイントメントをとり、訪問させていただきました。また失礼のないように、話し方なども事前に勉強してから、お伺いしました。

ーなるほど。それはちょっとした社会勉強ですね。ほかに苦労したことは？

高賀：スタッフのみんなに動いてもらうためにはどうしたらいいか、いろいろ考えました。積極的でない人間もいますので、そうした人には動いてもらうように納得するまで話し合いました。だけどスタッフそれぞれのプライベートにも配慮は忘れませんでした。それが授業、バイト、家のことなど個人事情がありますから、そうしたことを犠牲にして学園祭の準備にかからせることのないように気を遣ったつもりです。

ー来年も学園祭の実行委員を続けますか？

高賀：わかりません（笑）。大事なことは組織づくりだと思います。後輩が後に続いてくれること、その環境をどう整えるか、ということを考えなければ…

ー今回の実行委員長としての経験や学友会会長としての経験は、今後の高賀さんの人生にどう活かされてくるのでしょうか？

高賀：たとえば自分が組織を統率する立場になった時、リーダーとして自分は何をしなければならぬか、大切な指示とはどのようなものか、という点で大変良い経験ができたと思います。自分は将来、消防士を目指しています。消防士はチームとして活動しますから、チームの一員としての自分のあり方を考える良いきっかけになったと思います。

ー最後に情報大を後輩に勧めるとしたら？

高賀：先生たちがいろいろと親身になってくれるから、安心して勉強できますね。たとえば原価計算など高校では勉強してこなかったことをいま学んでいます。どうしたら商品を安く仕入れて、どうやったら利益を出せるか、実践的なことを詳しく教えてもらえるので、授業が楽しいですよ。自分は、情報の教員免許も取りたいと思っていますので、勉強、部活、学友会活動といういろいろやるのがあって、毎日充実しています！

ーいろいろお話ありがとうございました。これからもがんばってください。

ゼミ紹介（秋吉研究室）



研究テーマ：Webマーケティング

目指すは日本一の社会人・人間力を養成するゼミ！

コラボレーション

・企業との事業コラボレーション
・社会・地域とのコラボレーション

ソーシャルメディア

・生放送＆動画配信事業
・各種ソーシャルメディア利用事業

プロモーション

・商品開発、プロモーション戦略立案
・学園祭イベント企画・制作他

2015年の目標！経済産業省「社会人基礎力育成グランプリ2015」全国大会出場！
毎年2月に行われる、経済産業省主催の大学生の人間力・社会人を鍛える「社会人基礎力育成グランプリ2016」全国大会出場を目標として、まずは九州大会突破を目指します。

コラボ事業実践具体例
①㈱フラウ USTREAM 配信



コラボ事業実践具体例
②博多アイドル HR USTREAM 配信

社会貢献・地域連携具体例
九州北部豪雨災害地区取材＆情報発信



イベント事業実践具体例
九州情報大学学園「アイドル学園祭」